

CUCMでのCMS会議ブリッジ登録に関する一般的な問題のトラブルシューティング

内容

はじめに

このドキュメントでは、Cisco Meeting Server(CMS)をCisco Unified Call Manager(CUCM)の会議ブリッジとして登録しようとするときに発生する一般的な問題について説明します。

前提条件

- IPではなく、CMSのFQDNを使用してCUCMからCMSへのSIPトランクを設定していること
- CUCMでCMS会議ブリッジを設定し、HTTPSアドレスホスト名としてSIPトランク宛先のオーバーライドを有効にしている。

1. TLSバージョンが一致しません

CUCMはTLS 1.0を使用し、CMSはTLS 1.2を使用している可能性があります

バージョン2.3以降のMeeting Serverでは、SIP、LDAP、HTTPS (着信接続 : API、Web Admin、Web Bridge、発信接続 : CDR) およびXMPPのすべてのサービスに対して、少なくともTLS 1.2とDTLS 1.2を使用します。

解決方法

TLS 1.2を実装していない古いソフトウェアとの相互運用が必要な場合は、SIP、LDAP、およびHTTPSサービスの最小TLSバージョンとして、より低いバージョンのプロトコルを設定できます。CMSのMMPコマンドリファレンスガイドのtls <service> min-tls-version <minimum version string>コマンドおよびtls min-dtls-version <minimum version string>コマンドを参照してください。

注 : tls設定の変更を適用するには、Call Bridgeを再起動する必要があります。

2. CUCMがCMSにTCPトラフィックを送信しない

CMSでCUCMから着信するトラフィックがない場合があります。

解決方法

これが発生する原因は、CUCMがCMSに接続するためのURLを解決できないためです。会議ブリッジのHTTPSアドレスホスト名として、Override SIP Trunk Destinationで使用されるURLに、CUCMが使用しているDNS上の対応するAレコードがあることを確認します。

または、CUCMのプライマリDNSがCMSのFQDNを解決できることを確認します。CUCMで設定されたセカンダリDNSノードは、プライマリDNSノードが完全に到達可能でない限り使用されません。

CUCM SDLのログに次のように記録されます。

```
87042368.004 |15:18:18.129 |AppInfo |ConnectionFailureToPDP - A connection request from Unified CM to t
87042368.005 |15:18:18.129 |AlarmErr |AlarmClass: CallManager, AlarmName: ConnectionFailureToPDP, Alarm
```

3. 証明書の問題が原因でCMSが登録されない

CUCMとCMSの間でTCPトラフィックが交換されているのに対し、CUCMはTCP接続をリセットしています。

解決方法

CMSとCUCMの間のTCP接続を設定する3ウェイハンドシェイク中に、CMSはCUCMにwebadmin証明書を提示します。上書きパラメータで使用するURLは、WebAdmin証明書にCNまたはSANフィールドのいずれかとして存在する必要があります。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。